

応援・義援

救援物資の搬入と受付



国内各都市及び個人や海外からの応援・義援で明石市民は
大いに励まされました。

救援物資も全国から

被災地である明石市にも、市内をはじめ全国各地の個人、企業、各種団体、自治体などから豊富な救援物資が届けられました。搬入の方法も、直接窓口に届けられるもの、郵送されるもの、鹿児島県国分市や川内市のように本市をはじめ阪神地区の各被災市に順次トラックで届けられるものなど、昼夜を問わず様々な形で届けられました。

物資の内容も、1月の被災であったため、カイロ、毛布、ストーブなど暖をとるためのもの、被災状況の報道からかビニールシート、ミネラルウォーター等、また乳幼児や寝たきりの高齢者ら用として、粉ミルク、ほ乳ビン、紙おしめ、ウエットティッシュなどもあり、細かい心づかいがうかがえました。その他の救援物資としては、衣類、日用品、医薬品、電化製品、家具などがあり、総合計306件にのびりました。

届けられた物資は、当初は市内の各避難所からの要求内容に則して配送し、続いて仮設住宅設置後は入居者を対象に生活救援物資、厨房用品、電気カーペット、電気ポット、整理ダンス等を配付しました。

また、2月25日、3月25日の両日、市役所で被災者を対象に、衣類等を配付、実施にあたっては、高校生ボランティアの協力を得ることができました。搬入物資は、保健福祉部会議室を保管場所としていましたが、数量が多いため、市民会館、中央体育会館、中崎小学校に依頼することになりました。



届けられたビニールシートは
市民に配付した(市民会館)

全国各地からトラックなどで救援物資が届けられた(市役所)





応援・義援

寄せられた義援金

義援金は3億円余 県の委員会に寄託

被害の状況が深刻になってきたことから、1月21日に、さくら銀行明石支店、1月25日には明石郵便局に「兵庫県南部地震義援金口座」を開設しました。両口座への振込分と保健福祉部窓口で直接届けられた分とを合わせますと、合計5,120件、3億1,355万5,901円となりました（11月末現在）。

義援金も義援品同様、市内をはじめ全国各地から寄せられ、その中には雲仙普賢岳の噴火で被災を受けられた島原市、深江町からの義援金もありました。なお、受領義援金については、「兵庫県南部地震災害義援金募集委員会」の設置にともない、全

額、同委員会に寄託しました。

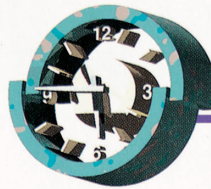
義援金の配分は、兵庫県南部地震災害義援金募集委員会の配分決定により、第1次配分として住家の全・半壊の被災世帯に対し10万円、第2次配分として震災による重傷者に5万円、ひとり暮らし老人、母子世帯をはじめとする要援護家庭に30万円が支給されました。また、第3次配分として、被災世帯の自己所有の住宅修繕及び民間賃貸住宅入居に対し30万円の支給（所得制限あり）を現在も行っていきます。

配分をめぐる、「なぜ全・半壊の人だけに当たるのか」といった抗議の声も数多く寄せられました。また、被災証明を発行する災害対策本部との連絡調整の悪さについても、お叱りの声が聞かれました。



子どもたちも小遣いの中から出しあった義援金を届けてくれた(市役所)





応援・義援

励ましの手紙

心に残る励ましの手紙

忙しい毎日に追われているなか、1月下旬、全国各自治体から温かい励ましの手紙が数多く市に届きました。災害対策へのねぎらいの言葉とともに、被災者の市営住宅等への短期受け入れ、児童・生徒の受け入れ、物資の提供、消防職員の派遣や、援助等の申し出が書き込まれていました。

また、市内の小学生から、災害対策本部に「市役所のみなさん、おかげがありませんでしょうか…。毎日たいへんだと思いますが、がんばってください。」という激励の手紙も届けられました。封を開けて見た担当者は感激して、皆に見えるようにと壁に張りだしました。

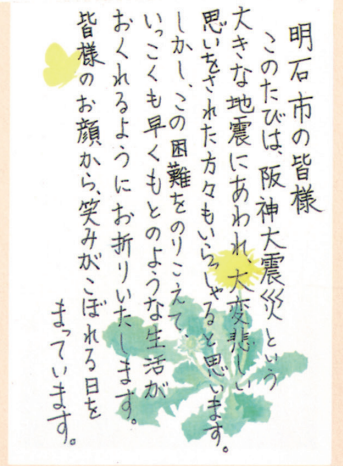
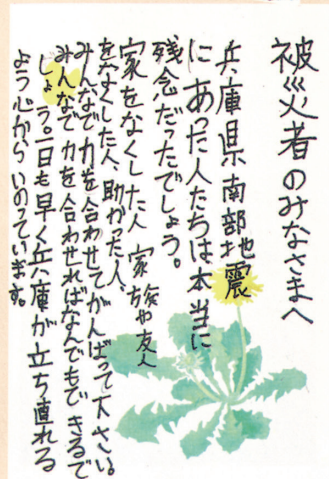
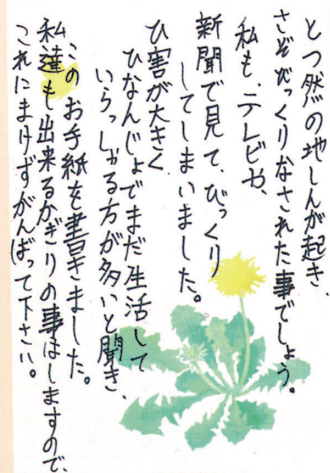
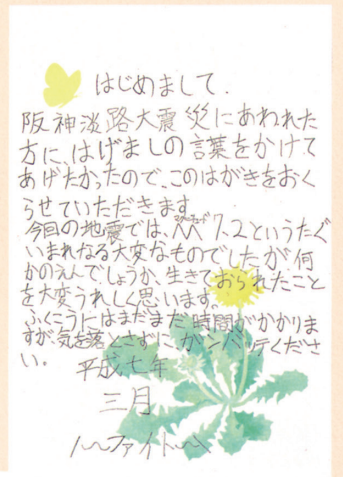
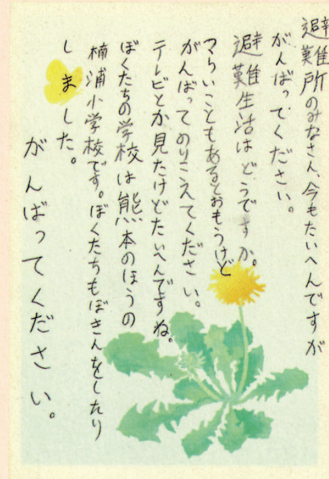
加古川市の小学生からも激励の手紙が届きました。「明石のみなさん大変でしょう。たすけにいてあげたい」。

「二度とこんな地震は来ないでほしい」

「テレビをみたとき、たすけてあげたい、てつだってあげたいと思いました」。

「行ってお手つだいをしたいけど、行けないから、ぼ金をしました。あまりないとおもいますが、それしかできないのでゆるしてください」など、本当に心から明石市民の心配をさせていただいていることが伝わってきました。

北海道札幌市の高校からは、模造紙に大きく書いた励ましのメッセージ、また、毎年明石市で開催されている全国高校軟式野球選手権に平成6年に出場した鹿児島商業高校野球部からも、部員で集めた義援金に激励の手紙が同封されていました。



阪神大震災で被害にあわれた方々、大変、不自由な生活をされていることと思います。毎日テレビで復旧の様子を放映されていますが、みなさんの顔を見て、いる姿が伝わってきます。私達は何かの力にもなれずただ心の中で早く立ち直られるよう、祈っているだけです。一日も早く普通の生活ができるように、心から祈っています。これからも、負けないで頑張ってください。

被災者の方々へ

震災から2ヵ月たちました。おそろいの様子はどうですか。テレビで店かいらしたとき、かんはてるんはてくたさい。これからおんはてくたさい。志村小は、上島の志村町にありき。熊本

ほんたに熊本を志村小にみまわっています。ちやんとたちなあってきたたのしいせいからにもとてくたさい

明石市のみなさんへ。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

阪神大震災にあわれた人たちへ。いつもテレビで地震のニュースを見てきた。四回だてのビルが倒れ、おそろい。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

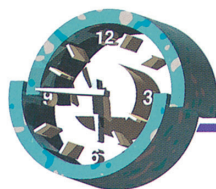
阪神大震災はあわれた人たちへ。いつもテレビで見えて、おそろい。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

避難をしているみなさんへ。避難生活はどうですか。阪神大震災がおこってから、2ヵ月たちました。それから、学校から換えん金を送りました。それと、新聞を見て、おそろい。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

明石市のみなさん神戸に近いです。さいがいもで、たごし。約500円はなれた所にいます。明石市か、さいがい。いば、ミウベと同じぐらいたと。おそろい。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

明石市のみなさんへ。あの大地震からもう2ヵ月がたちました。いば、ミウベと同じぐらいたと。おそろい。このまんのすいじしんで、ぼくはじしんのおそろしさをしりました。もうあのじしんから約3月がたちました。まだ元気がないと思っけ、この身袖をまんで元気を付けて下さい。明石市からこそ、こおいけい、こおんから、しあわせをいって下さい。

明石市のみなさんへ。今回の地震は、とつぜんでした。地震で家や家族を失った人も、がんばって下さい。こゝから、もういんな事がある。かと思ひますが、どうぞ、こゝに頑張って下さい。



応援・義援

他団体からの応援

応援にかけつけてくれたJAボランティアや他市町の職員(市役所2階ロビー)



全国の自治体などから 延べ5,000人を超える応援

被災直後から、応援申込みが各市町などから直接に、また東播磨県民局、県地方課を通じてありました。しかし、被災直後はそれぞれの部門が被害状況の把握に全力を挙げている時期であり、応援を受け入れる態勢にはなっていませんでした。

やるべき仕事は山積しているものの、どのように解決していくかが整理されていないため応援を受けても活用できない状態でした。もちろん、給水部門のように市民生活のライフラインに直結したものは震災直後か

らフル稼働しており、1月19日からは応援も加わり、断水区域への水の供給に全力を挙げていました。

1週間程度経過し、被害の把握もめどがたち、その対策に集中できる態勢が整うと、各市町などからの応援が本格化しました。応援は1月19日から3月29日の期間に及び、13種類の業務に延べ5,388人が従事しました。(別紙 資料参照)

県内の市町に対しては東播磨県民局、県外については県地方課を窓口にして応援依頼を行ってきましたが、応援を要請された県下各市町では数十名から百名を超える職員を被災各市へ連日派遣したと聞きおよんでいます。

不平不満漏らさず、黙々と

本市では県下各市町をはじめ、東は東京から西は鹿児島まで全国規模での応援を受けましたが、混乱した状況のため応援職員に対して何一つ満足のいく対応はできませんでした。その余裕がなかったというのが実態です。しかし、一言も不平不満を漏らさず、割り当てられた業務を粛々と整然と遂行していく姿は、我々に勇気と希望を与えてくれました。以下は、その活動の一部です。

●JAグループの応援

JAグループは全国中央会が指揮し、JA中国グループを主要メンバーとして編成され、1月25日から1月31

日までの間、延べ126人に避難所の夜当番に従事していただきました。

震災間もない時期であり、避難された市民の数も多く、職員も不眠不休が続き疲労も重なっていたときだけに大変ありがたいものでした。業務に従事する姿勢がさらに素晴らしく、本市には余分な気を一切使わず、宿舍の手配からメンバーの人選まで一切を自前で行い、また、各団体からの寄り合い所帯にもかかわらず見事に統制されており、業務を整然と遂行する姿には大変感銘を受けました。

●倉敷市の応援

一方、倉敷市は遠方でありながら2月1日から3月14日の1か月半にわたり、延べ210名に避難所の夜当番に従事していただきました。年度末で大変忙しいにもかかわらず、長期間応援を続けていただきました。1班5名編成で2泊3日で交代する形をとり、夜当番が明けると屏風ヶ浦荘(市健康保健組合保養所)で仮眠を取り、夜になると避難所へ詰めるという体制をとられていました。応援の期間中、班交代のため倉敷・明石間を15回も車で往復されました。交通事情の悪いなかのことであり、本当に感謝の言葉もありませんでした。

応援を受ける側として注意したことは、相手に担当業務の内容を十分に理解してもらうことでした。特に避難所の業務については、避難した住民が平穏に生活できる環境づくりがその目的であり、非常に地味な業務です。そのため、応援者から暇で困ったという不満がでる可能性があります。また他団体でそのような例があったと聞きました。

このため、地震関連情報を掲載した「市政だより」を配布するととも

に、毎日、朝・夕の避難所への出発前に、担当部門の責任者から被害状況や避難所の状況、業務の性質等の説明も欠かさず行いました。

このように、各団体から心温まる応援を受けましたが、次のことに注意する必要があると感じました。

緊急事態が発生して業務が山積していても、一概に応援が効果的であるとは言いきれません。例えば、避難所の管理、食糧・物資の運搬、給水応援、ガレキの収集といった人手を必要とする業務は応援になじみますが、判断の必要なもの、後の事務処理に影響するもの、市職員の同行が必要なものなどは応援になじみにくいものと考えられます。

職員も膨大な量の業務をかかえており、応援者にきめ細かく指示を出したり指導したりする余裕がありません。このため応援を受けることによって、その対応に手間がかかるような場合には非効率となる可能性が多分にあります。

応援を求めるにあたっては、業務の種類によって応援が効果的かどうか

かを判断する必要があると思われます。

今後、当社が応援を出すような機会があれば、真先に駆けつけ、依頼された業務を整然と遂行していきたいものだと痛感しました。



業務の打合せをする応援職員
(市役所2階ロビー)



他団体からの応援

他市町等からの応援

団体名	延べ人数	業務内容	団体名	延べ人数	業務内容
加古川市	69	避難所の管理	播磨町	38	避難所の管理
	17	避難所への食糧搬送		4	災害ごみの収集
	8	災害ごみの収集		6	家屋被害調査
	20	下水管渠復旧査定設計書資料作成	計	48	
	8	給水応援	兵庫県	40	避難所の管理
	8	家屋被害調査		43	ため池災害査定設計
計	130			8	共同住宅の応急危険度判定
高砂市	69	避難所の管理		6	家屋被害調査(明石財務事務所)
	10	避難所への食糧搬送		6	家屋被害調査(加古川財務事務所)
	9	災害ごみの収集		6	家屋被害調査(社財務事務所)
	30	建築物被災相談現地調査	計	109	
	8	家屋被害調査	鹿児島県	28	災害援護資金貸付申込み受付
計	126		建設省	9	共同住宅の応急危険度判定
西脇市	4	家屋被害調査	自衛隊	3,787	倒壊家屋解体
姫路市	20	下水管渠復旧1次査定データ整理	文部省	16	学校施設、天文科学館、図書館の危険度判定
三木市	10	災害ごみの収集	倉敷市	210	避難所の管理
小野市	6	災害ごみの収集	JA中央会	126	
加西市	14	建築物被災相談現地調査	太子造園協会	6	給水応援
吉川町	35	} 避難所の管理	県建設業協会	72	漁港災害復旧査定設計
社町	44		神奈川県 岡山県 広島県 鳥取県 島根県 山口県 宮崎県	} 共同住宅の応急危険度判定	
滝野町	38				
東条町	38				
中町	31				
加美町	31				
八千代町	31				
黒田庄町	31				
稲美町	36	避難所の管理	合計	5,388	
	4	給水応援			
	3	家屋被害調査			
計	43				



応援・義援

皇室ご激励のご訪問



岡田市長らの案内で仮設住宅の中を一巡された(明石公園)

常陸宮、同妃両殿下お成り になられ仮設住宅入居者ご 激励

平成7年5月25日、常陸宮同妃両殿下が、明石市にお成りになり、自宅などを失い、応急仮設住宅に入居されている被災者の方々へのお見舞いとご激励をされました。

当日は、県立明石公園内に建設された2か所の応急仮設住宅をご訪問されましたが、入居されている被災者の方々はもとより、近隣市町からも、両殿下のお姿を一目拝見したいと、数多くの人々が集まりました。

両殿下は、岡田市長と萩原市議会議長の案内により、応急仮設住宅のなかを一巡され、幼い子を抱えた母親や一人暮らしのお年寄りの方な

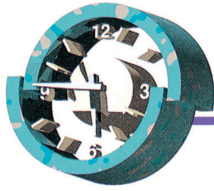
ど、入居されている被災者のお一人おひとりに、応急仮設住宅での生活や健康状態についてご質問されたり、熱心に被災者の方々の声に耳を傾けられていました。

やさしく手をとって励まされたり、お見舞いのお声をかけられた被災者の皆さんは、両殿下の温かいお気持ちに触れ、なかには、感激のあまり思わず涙ぐまれるお年寄りの方もおられました。

これからの生活の再建に向け、決意を新たにしたいという声も数多く聞かれるなど、被災者の皆さんにとりまして、心励まされる一日でした。このあと、公園内の国の重要文化財、異櫓の被災状況や崩壊した石垣をご覧になり、改めて地震のつめあとの大きさを感じられたご様子でした。



仮設住宅入居者に励ましの声をかけられる両殿下(明石公園)



応援・義援

姉妹・友好都市

バレホ市・無錫市からも お見舞いと支援

明石市では、アメリカ合衆国・バレホ市、中華人民共和国・無錫市と姉妹都市、友好都市提携を結び、これまで文化・スポーツ・教育など様々な分野で交流を深めてきました。このたびの震災に際しては、両市をはじめとする世界の都市より、心温まるお見舞い、ご支援をいただきました。

無錫市からは、震災の翌日にいち早く、于 廣洲市長より、お見舞いのメッセージが届けられました。また、平成元年に友好都市10周年記念事業として開催された「中華人民共和国南京博物院・無錫市博物館特別展」において多大のご支援、ご協力を賜った南京博物院からも丁寧なお見舞いのメッセージが届けられました。

バレホ市からは、平成元年に発生したサンフランシスコ大地震の際に、明石市から義援金が贈られてきたことを多くの市民が覚えていたことや、これまで積み重ねてきた明石市との友情から、是非とも明石市を支援しようとの気運が盛り上がったようです。そしてバレホ市議会では、市民の気持ちに応えようと、明石市へのお見舞いと明石市がこの危機を乗り越えるために市をあげて支援する旨の決議を採択し、その決議書を届けられました。

このほかにも、テリー・カトーラ前市長や明石市へ英語指導教師として来明されたドロシー・クリスチャン先生をはじめ、これまで両市の友好交流に携わってきた多くのバレホ市民から、励ましのメッセージが続々と届きました。

なかでも、3月11日には、バレホ市姉妹都市協会、バレホ市姉妹都市委員会、バレホシンフォニー協会、バレホ観光局の主催によるチャリティーコンサートが地元のホーガン音楽堂で開催され、コンサートの収益金5,204ドル(約45万円)が明石市へ贈られました。このコンサートは、インテントリー市長をはじめ、約550名のバレホ市民が集まったなか、姉妹都市提携20周年記念事業で、明石市民会館を沸かしたザ・ウェル・テンパード・ヴォイシーズや同じく25周年記念事業で、明石第九合唱団とジョイントコンサートを行ったバレホシンフォニーオーケストラが出演し、震災復興の願いを込めて盛大に開催されたそうです。

また、明石姉妹都市協会の水田会長が、岡田市長の礼状を持ってバレホ市を訪問した際には、バレホロータリークラブから、義援金として、2,000ドル(約19万円)が贈られました。

その他、バレホ市と無錫市以外の多数の世界の都市からも、同様のお見舞いのメッセージが届けられ、市民の復興の心の支えとなりました。

無錫市人民政府

日本明石市市長 岡田進裕 様

明石市の所在地である貴国の関西地区における地震災害により、多くの生命や財産が失われたことを驚きを以て知りました。私は謹んで無錫市人民政府を代表し岡田市長に、また岡田市長を通じて明石市の市民の皆様へ、深くお見舞い申し上げますとともに、被害者の方には哀悼の意を表します。私達は、明石市の市民の皆様が、貴市の素晴らしい指導の下、一日も早く日常生活を取り戻すことを信じます。

無錫市人民政府

市長

一九九五年一月一八日

1995年1月20日

岡田市長様

バレホ市議会および市民に代わりまして、この度の地震で被害を受けられた明石の皆様へ心からのお見舞いを申しあげます。

バレホの多くの市民が明石の姉妹都市協会の友人に電話をして、明石市の被害状況について、さまざまな報告を受けております。一番新しい報告には、明石の建物も全壊したり、かなりの被害があり、7名の方が亡くなり、多くの負傷者がでたとあります。

明石の被害状況、また現状について、ファクスでお知らせくださいませんか(fax. 707-648-4499)。市長様と明石のことを非常に心配しております。続いて連絡をとるようにいたします。

明石の早い復旧と明石市民のために祈っております。

アンソニー・インテントリー・Jr

バレホ市長

无锡市人民政府

WUXI MUNICIPAL PEOPLE'S GOVERNMENT

日本明石市市長岡田進裕先生:

驚悉明石市所在的貴國關西地區發生地震災害, 生命財產遭受損失。我謹代表無錫市人民政府向市長先生并通過先生向明石市人民深表慰問, 并对遇難人員表示哀悼。我們相信, 明石市人民將在貴市政府早有成效的領導下早日恢復生產生活, 重建家園。

無錫市人民政府
市長 孫洪明

一九九五年一月十八日

中国无锡市解放南路634号 电话: 226991
634 JIEFANGNAN ROAD, WUXI, CHINA TEL: 226991

CITY OF VALLEJO
RESOLUTION NO. 95- N.C.

BE IT RESOLVED by the Council of the City of Vallejo as follows:

WHEREAS, the City of Akashi, Japan and the City of Vallejo has maintained a long and enduring sister city relationship which spans over 25 years; and

WHEREAS, on Tuesday, January 18, 1995 a 7.2 magnitude earthquake hit Japan causing great devastation, death and injury to many of it's citizens, including residents of the City of Akashi; and

WHEREAS, the sister city of Akashi, Japan showed great compassion to the City of Vallejo during the 1989 earthquake in the San Francisco area with their gift of funds for earthquake relief; and

WHEREAS, the City of Vallejo wishes to extend its sympathy and condolences to its sister city of Akashi, Japan; and

WHEREAS, the Vallejo Sister City Commission, Vallejo Sister City Association, Vallejo Symphony, and Vallejo Convention and Visitor's Bureau will be joining forces to raise funds for earthquake relief as a show of support for our sister city Akashi, Japan.

NOW, THEREFORE, BE IT RESOLVED that the Council of the City of Vallejo wishes to express their deepest sorrow on behalf of its citizens to Akashi, Japan and its neighboring cities and extends its continuing support during their time of crisis.



Anthony J. Intintoli, Jr.
Mayor Anthony J. Intintoli, Jr.

Foster Hicks
Vice Mayor Foster Hicks

Rodney Boschee
Councilmember Rodney Boschee

Jack Higgins, Jr.
Councilmember Jack Higgins, Jr.

Gloria Estline
Councilmember Gloria Estline

Cris Villanueva
Councilmember Cris Villanueva

Bill Patchell
Councilmember Bill Patchell

バレホ市議決No.95

バレホ市議会は以下の事項を決議する。

明石市とバレホ市は25年にわたる姉妹都市関係を保持している。

1995年1月17日、マグニチュード7.2の地震が日本に起こり、明石市の住民をも含む多くの国民に大きな破壊、死者、および負傷者をもたらした。

1989年のサンフランシスコ大地震の折、明石市は地震救済の義援金を送りバレホ市に大きな愛を示してくれた。

バレホ市は明石市に対して、同情とお見舞いの気持ちを示したい。

姉妹都市委員会、協会、バレホシンフォニー、バレホ観光局は共に地震救済の募金を集め姉妹都市明石を支援する。

ここに、バレホ市議会はバレホ市民に代わり明石市とその近郊の町の方々にお見舞いを述べると共に、この危機を乗り越えるために続けて支援することを決議する。

アンソニー・インテントリー
市長

フォスター・ヒックス
副市長

ロドニー・ボッシー
市会議員

クリス・ヴィラヌエヴァ
市会議員

ジャック・ヒギンズ
市会議員

ビル・バッチェル
市会議員

グロリア・エクスライン
市会議員



CITY OF VALLEJO

ANTHONY J. INTINTOLI, Jr.
Mayor

October 19, 1994

The Honorable Nobuhiko Okada
Mayor, City of Akashi
City Hall
1-1-1 chome Nakasaki
Akashi, Japan 673

Dear Mayor Okada:

Please accept my heartfelt regrets that I could not attend Akashi's celebration of the 75th anniversary of your incorporation as a city. I thank you for your invitation. Since I could not personally be with you, I thought I should write and express our feelings about the success of your great city and our sister city relationship.

We are very proud that our cities have enjoyed a vibrant and beneficial sister city relationship for these last 26 years and that this represents roughly one-third of the years Akashi has been incorporated. Our cities share much in common, especially in the aftermath of World War II. We know that most of Akashi was virtually destroyed by the end of the war and since that time Akashi has rebuilt itself as a shining jewel of a city on the inland sea. Akashi is famous for its Kawasaki plant, the Akashi 130th meridian Planetarium and official Japan time clock, a bountiful fishing industry (including tacho), the Dontana Market, the new Akashi-Awaji Bridge under construction and, of course, its progressive municipal government!

Certainly Akashi has much to celebrate. Over the last 26 years of visitations by delegations to Akashi, many Vallejo residents have witnessed and admired the progressive measures which the city has accomplished for the benefit of the people. The most recent we recall is the new Cultural Museum. And of course, just last year the Vallejo Symphony was privileged to join with the Akashi Chorus to play in Akashi's wonderful concert hall in honor of our 75th sister city anniversary. We are working on plans to also build a concert hall like yours.

In conclusion, it is with great admiration and affection that I write on behalf of the citizens of Vallejo to express our shared pride in the people of Akashi for their many successes in making Akashi a great city. We hope that your anniversary celebration day will be joyous and fun. Please know we will be celebrating with you in spirit!

Very Truly Yours,

Anthony J. Intintoli, Jr.
Mayor